

Japan Agricultural Cooperatives

2025

GOTO

ISLANDS



9

September

No.235

お米の収穫シーズン到来
生産部会 出荷反省会

岐阜ライスセンター
各種部会

1万箱分のブロッコリー育苗へ
そらまめ栽培、はじまりの一步
次世代の戦略的肉用牛経営

ブロッコリー播種
そらまめ播種
第1回肉用牛大学



盈進小学校 そばの種まき

今年も盈進小学校で、「盈進まつり」の手打ちそばに向けて
5年生と6年生が元気に種をまきました。



地域から次々と集まる新米

令和7年産 **早期水稻**



早期水稻

岐宿で始まるお米の収穫シーズン

●岐宿ライスセンターで令和7年産早期米の受け入れが始まり、地域に実りの季節が訪れました。



晴れ間を見計らって搬入される早期米

令和7年産・早期米の 受け入れ始まる

8月12日より、岐宿ライスセンターにて令和7年産の早期米の受け入れが始まりました。

今年もいよいよお米の収穫シーズンが本格化し、岐宿町のライスセンターでは連日活気ある日々が続いています。持ち込まれたのは、待ちに待った新米・早期米です。受け入れ開始からわずか1週間で、すでに30㌧を超えるお米が集まりました。

品質検査で一粒一粒を 丁寧に確認

8月15日にはコシヒカリの品質検査が実施され、農産物検査員がピンセットを使って一粒一粒を丁寧に確認していました。

検査では色つやや粒の大きさ、形、割れや変色の有無などが細



一粒一粒を真剣に見極める大町検査員

かくチェックされます。わずかな傷や斑点も見逃さない厳しい検査は、生産者が丹精込めて育てたお米の品質を守り、消費者の食卓に安心と安全を届けるための大切な工程です。

カメムシ被害と 水不足の影響

現場担当者によると「今年はカメムシによる被害が多く、斑点や痩せた粒が目立つ」とのこと。

夏の暑さや気温の早い上昇で虫の発生が例年より早まり、被害が広がっています。さらに、田植え期から続いた雨不足も深刻で、水不足の影響により、苗の注文がやむなくキャンセルとなる事態もありました。

それでも幸いなことに高温障害の影響は比較的少なく、多くのお米は順調に生育しました。生産者たちの粘り強い努力と地域全体の協力によって、厳しい気象条件の中でも質の高いお

米が育っています。

半年間の努力を映す

「等級」

こうして持ち込まれたお米はすべて検査を受け、等級が付けられます。等級は市場での流通価格や評価に直結するため、生産者にとっては大切な瞬間です。

検査員の一粒一粒を見極める眼差しと、ライスセンター職員の迅速かつ丁寧な対応が、地域のお米の品質を支えています。

どんなに厳しい環境でも、地元の人々の手で大切に作られ、厳しい検査を経た新米は、きつと皆さんに安心して味わっていただけることと思います。



ピンセットで丁寧に確認し、カメムシ被害などの割合を算出



少量のお米を検査機にかけ、水分量を測定

地域で育む美味しいお米

岐宿町の米作り 大坪善次さん



4品目のお米を栽培する
大坪 善次さん



倒れた稲穂も、しっかりと実がつまっていました



晴れ渡る空の下、順調に進む稲刈り

稲刈り現場に広がる

夏の風景

検査日と同日の8月15日、稲刈りの現場を取材することができました。ライスセンター付近に広がる広大な田んぼで、大坪さんご夫妻が汗を流しながら作業していました。黄金色に輝く稲穂が広がる田んぼの中、コンバインの音や草の香りが広がり、収穫の季節を感じさせます。

その周囲には先日の雨天の影響で稲穂が倒れていましたが、実がしっかりと詰まった様子が見受けられました。

農業の難しさ工夫

栽培面積は合計で3畝にも及び、ほとんどの土地でお米を栽培しているとのこと。毎年この時期には収穫の準備に追われる日々を送っているそうです。

しかし、農作物にとって「天敵」とも言えるカメムシの被害が大坪さんの悩みの種。特に今年は春先から多く、これまでに3回薬を撒いたとのこと。

「カメムシが増えすぎると、稲の成長と品質に大きな影響を与えるんです。これを防ぐためには、早期の対策が不可欠で日々目が離せません。」という言葉には、農業の難しさとその苦労がひしひしと伝わってきます。

家族と地域の支え

取材中、ご主人のお母さんが様子を見に来る場面もありました。手に水とお菓子を持って差し入れをする姿から、家族の支え合いが日々の農作業を支えていることを実感できます。

さらに、近所の方や仲間の農家との情報交換も、安心して収穫作業を進める大切な要素になっているとのこと。

この日は快晴で、稲刈り作業は順調に進んでいましたが、まだ数日はかかる見込みだそうです。大坪さんご夫妻の手際の良さが頼もしく感じられました。



善次さんが稲刈りを、和子さんが収穫したお米の運搬を担当していました

ブロッコリー出荷反省会

ブロッコリー部会は8月6日、J Aごとう本店にて令和6年作秋冬ブロッコリーおよび令和7年産春ブロッコリーの出荷反省会を開催しました。

秋冬ブロッコリーは前年比132%となる42戸23㍏、春ブロッコリーは前年比131%となる13戸2.1㍏



で栽培されており、栽培意欲の高まりがうかがえる一方で、秋冬・春ともに干ばつや高温、曇天や断続的な降雨、さらに遅霜など、天候の影響を大きく受け、生育・収穫においてさまざまな課題が発生しました。特に活着不良や収穫時期の遅れ、一斉収穫による品質への影響など、栽培管理に苦労する年となりました。

同会では生産者同士が意見を活発に交わし合い、課題を共有。令和7年度の秋冬ブロッコリーでは収穫率70%以上の達成を目指すとともに、周年を通し品質の良いものを安定的収穫・出荷できる体制を確立し生産者の収益向上と市場への安定供給を目指としています。

高菜出荷反省会

8月7日、本山事業所にて令和6年度産高菜の出荷反省会を開催しました。

本年度の高菜は、作付面積48.5㍏（前年比108%）、栽培戸数41戸（前年比3戸減）で栽培が行われました。

8月～9月にかけては平年より気温が高く、降雨も少なかったため、高温・干ばつの厳しい気候となりました。さらに、10月以降は例年に比べて病害虫の発生も多く、水不足や病害虫防除に大変苦労された一年だったと、振り返りがありました。

当日はあいにくの天候により船が欠航し、全農の担当者は出席できませんでしたが、「取引先を訪問した際、どの会社からも五島産高菜の出荷量増加を

強く望む声があり、五島産高菜への高い需要を感じた」とのメッセージが寄せられました。J Aごとうは本山にある高菜施設のタンク改修を今年度中に完了させるとし、今後も出荷量の拡大に向け、取り組みを強化していくとしています。



種馬铃薯出荷反省会

8月8日、種馬铃薯出荷反省会が三井楽事業所にて開催しました。令和7年産種馬铃薯の出荷実績および収支決算の報告に続き、生産支援対策事業について活発な意見交換が行われました。

令和7年産は、作付面積300㍏、栽培戸数14



戸での取り組みとなり、収穫量は約68㍏、10㍏あたりの収量も2㍏を超えるなど、いずれも前年を上回り、120%以上の好成績を記録しました。

本年度も、同会では「デジマ」「ニシユタカ」「さんじゅう丸」の3品種が栽培されており、中でも「ニシユタカ」が全体の約90%を占め、主力品種としての地位を維持しています。また、総会では種馬铃薯の育成方法や出荷方法などについて、J A職員と生産者の間で意見が交わされるなど、有意義な情報共有の場となりました。

同会では今後も、品質のさらなる向上と作付面積の拡大を目指して取り組んでいく方針です。

秋冬ブロッコリー播種



1万箱分のブロッコリー育苗へ

JAごとうは、五島市増田町にある黒蔵育苗施設で、8月12日からサマードームの播種を皮切りに、全13品種の冬ブロッコリーの種まきを開始しました。大雨や猛暑など、天候が不安定な中、職員たちは体調に気を付けながら作業に取り組んでいました。

専用の機械を使い、セルトレイと呼ばれる育苗ポットに土を入れ、播種、覆土、灌水の一連の作業が行われます。種がまかれた育苗箱は、広い育苗ハウス内に作られた棚の上に次々と並べられました。

職員は、「害虫被害を少しでも減らし、農家さんに少しでもいい苗を配布できるように、ハウス周りの雑草をできるだけ抜くなど、細心の注意を払っています。この時期は特に体調管理に気をつけ、こまめな休憩を大切にしながら作業をしています。」と話していました。

令和7年度は、9月末までに約1万箱、作付け面積で約18畝分の種まきを行いました。



約3週間の育苗を経て農家さんに配布されます



丁寧になべられる育苗箱



この日は、約800箱の種まきが行われました。



三井楽地区



嶺南地区



本山地区



恒江地区



富江地区

令和7年度産

そらまめ播種



そらまめ栽培、はじまりの一步

JAごとうそらまめ部会では8月16日の三井楽を皮切りに、**崎山**、**本山**、**福江**・**富江**と、順次種まき作業が行われました。

当日は朝早くから部会員の皆さんが集合し、それぞれが役割を分担しながら手際よく作業に取り組んでいました。苗箱には鹿沼土を敷き詰め、1箱150粒入る苗箱に一粒ずつ、丁寧に種をまいていきます。発芽はおよそ1週間後。その後、約1か月間は冷蔵庫で大切に保管され、気温が下がる10月上旬からは圃場に定植される予定です。

そらまめは「低温処理（バーナリゼーション）」が必要な作物で一定期間低温にさらされることで花芽が形成される性質を持っています。そのため、種まき後の冷蔵庫での保管期間は、発芽だけでなく生育サイクルを整えるうえでも重要な工程となります。

そらまめの栽培は8月の種まきから始まり、冬を越えて春に収穫を迎える、長い時間と手間をかけた営みです。その最初の一步となるこの種まき作業には部会員の皆さんの経験と工夫、そして地域農業への想いが詰まっていることと思います。

各支所では、種をまき終えた苗箱に丁寧な、たっぷり水をかけながら、豊作への願いを込めて作業を終えました。





朝から元気に種をまく児童たち



全部で5kgあるそばの種をみんなで仲良く分けました



青年部活動

青年部 食農教育活動

盈進まつりに向けて そばの種まき

JAごとう青年部富江支部は8月26日、「食農教育」の一環として、盈進小学校の5・6年生13名とともに、そばの植え付け作業を行いました。

盈進小学校では、毎年11月末に開催される「盈進まつり」でのそば打ち体験に向けて、そばの栽培に取り組んでいます。この活動は、農作業を通じて農業や食の重要性を学ぶことを目的に実施されています。

当日は、青年部員が事前に耕した約1坪の畑に児童たちが集まりました。種まきについて説明を受けた後、バケツに入ったそばの種を配られた容器でたくさんすきました。「もっとほしい！」と元気な声が上がリ、取り合うほどの盛り上がりを見せていました。

その後、横一列に並んで作業を行った児童たちは、「もう全部使っちゃった」「収穫は11月から、まだ遠いな」と笑顔で話しながら、無事に種まきを終えました。



肉用牛

令和7年度 第1回

五島地域肉用牛大学

次世代を見据えた戦略的肉用牛経営

8月26日、JAごとう家畜市場内で五島地域肉用牛大学が開催され、約50人が参加しました。講師として、(株)松永牧場グループ代表取締役の松永直行さんが長年の経験をもとに実践的な経営改善策を講演されました。

松永さんはまず育成期の重要性を強調し「現在の出荷日齢281日で297kgでは小さい。330kg以上を目標に早く、大きく育てることが収益の基本です」と指摘しました。大きな牛ほど市場価格が高く、「350kgの牛は確実に高値がつく」と農家の意識改革を促しました。

市場価格については、コロナ禍やウクライナ情勢による飼料高騰で繁殖農家の離農が加速している現状を分析し、「繁殖牛頭数の減少により、牛肉価格は今後上昇傾向にある。来年より再来年がさらに高くなる」との見通しを示しました。

さらに、近年普及が進むゲノミック評価（遺伝子評価）について「去勢と雌では成績が大きく異なります」とデータを示しながら、次世代を見据えた種牛選択の重要性を強調。「みんなが同じことをやっていてはダメ。一歩先を考えた経営が必要」と、従来の枠にとらわれない取り組みを促しました。

講習会を通じて「出荷を早める・体重を増やす・無駄な脂肪を減らす」という肥育の基本が改めて確認され、基本技術の徹底と戦略的経営により、厳しい環境下でも収益性向上の可能性が示されました。



今後の肉用牛改良及び経営戦略について語る講師の松永直行さん

更なる飛躍へ！「パワーアップ5運動」推進中

●令和7年度の自賠責・自動車共済の取り組みを話し合う協議会が下五島・上五島で開催されました。優秀な実績を讀えるとともに、昨年に引き続き取り組む「パワーアップ5運動」について協議しました。

共済事業



【下地区】20名以上の関係者が集まり今後の取組について協議されました

8月5日、令和7年度「JAごとう共済代理店連絡協議会」を開催しました。午前は下地区、午後は上地区で、それぞれの会場にて実施しました。

下地区の開会にあたり、同協議会の会長であり長崎県本部共済代理店連絡協議会の会長も務める(有)平村自動車の平村会長が挨拶されました。

平村会長は「県内7つのJAの中で、JAごとうは十数年にわたり優秀な成績を維持しており、大変誇らしい。今年度もさらなる実績拡大のため、ご協力をお願いしたい」と述べました。



【上地区】活発な意見交換と目標の共有が行われました

続いて、杉本常務からは「JAごとうは県下でも非常に優秀な実績を挙げています。これは皆さまのご尽力の賜物です。」と、感謝と称賛の言葉が送られました。

成績面では、下地区の35代理店中21代理店が「特別優績共済代理店」、5代理店が「優績共済代理店」に選ばれ、上地区では12代理店中8代理店が「特別優績共済代理店」、2代理店が「優績共済代理店」に選ばれ、両地区ともに優秀な成績を収めています。

当日は、全共連からの実績報告に加え、「パワーアップ5運動」の振り返りと今後の取り組みについて協議し、参加者全員が意識を新たにす機会となりました。

JAごとう／上地区

全職員研修大会



「あるべきJA」を共有し一致団結

●職員研修大会を通じて団結と信頼を胸に、次年度に向けて一丸となりました。

職員研修

8月9日、JAごとうは上地区の職員を対象に「全職員研修大会」を開催し、約40名の職員が会場に集まりました。

この研修大会は、全職員の団結を促進するとともに、コンプライアンス意識の徹底を図ることを目的としています。

組合長による訓話では、これからのJAごとうの展望について語られ、職員一人ひとりが今後の課題を共有する機会となりました。

会の最後には、職員代表の音頭により「ガンパロー三唱」が行われ、団結を深めるとともに、令和7年度の事業計画達成への決意を新たにしました。

今回の研修大会を通じて育まれた職員間の絆とモチベーションを大切に、今後も「周囲から信頼される職員」を目指して、日々の業務に取り組んでまいります。



JAの展望を語る家永組合長



上地区職員による「ガンパロー三唱」



組合長訓話に耳を傾ける職員



第13回 島空マルシェ

食も楽しさも満載！猛暑の中、行列続々



湘南茅ヶ崎のかき氷専門店
「しんちゃんかき氷」

8月2日、快晴のもと開催された島空マルシェは、多くの来場者で大いに賑わいました。連日の猛暑の中、初出店となった「しんちゃんかき氷」には長い列ができ、お昼過ぎには全て完売してしまうほどの盛況ぶりでした。

子どもに人気の「らくスマイル」や「Blue Daisy」、大人に人気の「島 UMABURGER」や「ブーケガルニ」、さらにJA農産園芸部が提供する串焼きなど、多彩な店舗が出店し、それぞれに行列が絶えませんでした。

会場では、老若男女問わず皆さんが思い思いに楽しんでいるようでした。

麗宝展 ご来場ありがとうございました！

上五島地区の麗宝展が8月30日と31日に上五島支店で開催されました。

指輪やネックレスにピアス、腕時計やバッグに靴など多彩な商品が並び会場では、来場者が目を輝かせてじっくりと品定めをしていました。

修理・買取コーナーでは、大切なジュエリーのサイズ直しや、不要になった貴金属の買取を依頼する方々が多く見られました。



総合ポイント制度終了のお知らせ

平素よりJAごとうをご利用頂きありがとうございます。この度、総合ポイント制度の全国システム終了に伴い、総合ポイント制度を廃止し、新たに「直売所お買物会員制度」を開始します。新制度ではポイントカードが変更となりますので、現会員の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、「産直市場 五島がうまい」内サービスカウンターにて、カードの切替を行って頂くようお願い申し上げます。今後も変わらぬご愛顧の程、よろしくお願いいたします。

総合ポイント制度について

会員申込 令和7年8月31日（日）まで

ポイント付与 令和7年8月31日（日）まで

※8月ご利用分については9月中旬頃に付与させていただきます。

ポイント利用 令和8年1月31日（土）まで

※ポイント機能が廃止となるカード一覧



※カード左下に「Family」の記載がある家族カードも対象

クレジット機能は継続となります

直売所お買物制度について

制度開始 令和7年10月1日（火）より



新制度カードデザイン

総合ポイント会員につきましてはカードの切替をお願いします。

令和7年9月16日（火）より

「産直市場 五島がうまい」内のサービスカウンターにて対応させていただきます。

制度の詳細につきましては、「産直市場 五島がうまい」へお問い合わせください。

☎0959-88-9933 「産直市場 五島がうまい」担当：出口

8月・9月は

**JA直売所でJAカードを
ご利用いただくと**

ご請求時

10% 割引!



※一部のJA・店舗ではご利用いただけません。

JAバンク スマイルナビ

タブレットで便利で簡単に
JAバンクでのお取引をもっと便利に



タブレット画面で
文字が見やすく、
簡単に操作ができて
とっても便利だぞう

©よりぞう



タッチで簡単
お取引！

JAバンクスマイルナビで、大変だった書類への記入が不要に。タブレットの画面に沿って必要事項を入力・選択するだけで、お取引の受付ができます。※1



複数の書類
記入不要！

複数のお取引でもタブレットなら署名は一度きり。続けて入力する場合、2件目のお取引から同じ内容は自動表示されるため、入力不要です。※2



カード持参で
自動入力！

キャッシュカードをご持参いただければ、住所等のお客様情報や口座情報が自動で表示され、簡単・便利にタブレット入力が行えます。※3

※1：キャッシュカードと暗証番号による認証成立を条件に、同一名義で当組合に開設された当座性口座・定期性口座の情報および届出事項の一部がタブレットに表示されることがあります（JAごとに表示される内容は異なります）。詳しくは窓口までお問合せください。

※2：金額等の必要事項の入力等は必要となります。タブレットは一度に最大10件のお取引の入力を続けて行うことができますが、署名は一度きりとなります。また、続けてお取引の入力を行う場合は、一度入力した住所・電話番号などの再入力は不要です。

※3：キャッシュカードはカード表面記載の会員と本人様のみで利用いただけます。お客さまのカードをご家族等がご利用することはできません。また、暗証番号についてもご家族を含めた第三者に開示されることも禁止されています。ご家族名義のキャッシュカードをご希望のお客さまは窓口までご相談ください。

キャンペーン期間

令和7年

7月22日(火)

9月30日(火)

JAごとう 2025

サマー
キャンペーン



特別
金利1

組合員限定

1年

適用金利

0.4%

(税引後年0.318%)

※適用条件あり

特別
金利2

当JAの普通貯金より新たに定期貯金へ

1年

適用金利

0.29%

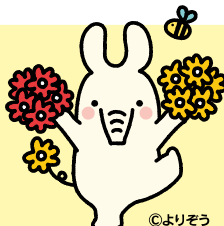
(税引後年0.231%)

※適用条件あり

特別金利1 または 特別金利2 で

新規お預け入れの方へもれなく

よりぞうグッズプレゼント！



©よりぞう

預入金額

30万円以上
1,000万円以下

預入期間

1年 ※自動継続扱いのみとなります。

素早く枯らし、長く抑える。
しつこい雑草に!!

非選択性茎葉処理除草剤

ザクザク
液剤

農林水産省登録 第22901号



500 ml	¥2,442
2 L	¥7,865
5 L	¥18,480
10 L	¥34,210
20 L	¥64,900
50 L	¥161,700



特長

- **スギナ、ツユクサ** など、ほとんどの雑草を枯らしめます。
- 早く枯らし、長く雑草の発生を抑えます。
- 有効成分のグルホシネートPは土壤中で速やかに分解されます。
※根を枯らさないで、石垣や傾斜面の使用に最適です。

お問い合わせ、ご不明点がございましたら、最寄りのJA窓口までお問合せください

コンテナ・パレットがないと困ります!!

目的外の使用はお断りしております。
必要とする人に行き渡るよう、互いに協力しましょう!



使用後は必ず返却して下さい。
コンテナ及びパレットは決して
遊ばせないで下さい。

産直市場「五島がうまい」よりお知らせ

直売所前広場 **9/21 (日)**
16:00~18:00

夕暮れ市を開催します！！



皆さまのご来場お待ちしております！

開催イベント ・ かき氷 ・ 輪投げ ・ ビンゴ大会 ・ ポップコーン無料配布 他 各種企画中！



下地区

麗宝展 本店特設会場にて開催します
10月 18日(土) 10:00 ~ 18:00
19日(日) 10:00 ~ 17:00

施設作業員募集

作業場所	作業期間
育苗センター	3月~11月
アスパラ選果場	3月~10月
ブロッコリー選果場	12月~5月
高菜加工施設	12月~3月

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

WEB年金相談会のお知らせ

年金についてのお困りごとを
社会保険労務士へ相談してみませんか？
開催日 毎月第2水曜日(祝日の際は翌営業日)
開催時間 1)09:00~09:50 2)09:50~10:40
3)10:40~11:30 4)11:30~12:20
※相談にあたっては事前のお申込みが必要です。
詳細は本店金融部までお問合せ下さい
☎0959-72-6212

 高島 浄倫会館
誠意と真心でご奉仕いたします
事前のご相談も承ります

株式会社 JAごとう葬祭

【本店】
〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】
〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場
五島がうまい

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1
電話：0959-88-9933 FAX：0959-88-9922
営業時間：9時~18時30分
9時~19時 (7・8月)

※農家レストランは10時30分~14時(予約については別途)
休業日：棚卸日(9/末、3/末) 年始(1/1・2・3)

編集 後記

今月は早期米収穫シーズンということで、田んぼに出向く機会が多かったです。
取材をしていると、腕にはいつの間にかカメムシが。足がチクチクすると思ったら
カマキリが。
帰宅して車から降りると、どこからついてきたのかキリギリスらしき虫が肩に乗っ
ていたり…。

自然の豊かさに驚かされる日々でした！季節の変わり目ですので皆さまご自愛くださいませ。

(神藤 夢香)

令和七年度 第五回理事会	
次第	令和七年八月二十七日(水)開催
1 議案事項	
議案 No. 1	固定資産の取得について ※可決・承認された
議案 No. 2	出資金の減口について ※可決・承認された
議案事項 その他	



●JAごとうNo.235 ●発行/ごとう農業協同組合 編集/総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211
●http://www.ja-goto.or.jp ●印刷/(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。